

## < 国語科 > 3年

### 現在の分析

#### < 知識及び理解 >

- ・ 第一回の区漢字検定は受検者174名中134名（77%）が合格した。
- ・ 学年間で授業実践の情報交換を密に行い、国語科における見方・考え方をはたらかせて問題解決を図る授業展開を工夫している。また、毎日の家庭学習の課題として継続して音読に取り組み、読書マスターを目指して読書活動の充実を図るとともに、さまざまな教科学習の際に国語辞典を活用している。その結果、各単元によるワークテストの結果をみると、語彙力や読解力は向上している。

#### < 思考力・判断力・表現力等 >

- ・ 自分の思いや考えを工夫して表現することができる児童が多い半面で、自分の考えをもつことに個別の支援を要する児童も少なくない。
- ・ 詩・説明文・報告文などを書く活動では、それぞれの形式や特徴に留意して活動する姿が見られた。一方で、原稿用紙の使い方や、既習の漢字を適切に使って文章を書く技能については不十分な児童もおり、課題が残った。
- ・ 朝の会の日直によるスピーチを通して、自分の思いや考えを分かりやすく伝える技能が高まったが、

#### < 学びに向かう力・人間性等 >

- ・ 国語の学習に意欲的な児童が多いが、国語に苦手意識をもってあまり意欲的でない児童もいる。
- ・ 意欲的に読書に取り組んでいるが、選ぶ図書の幅が狭い児童もいる。

### 重点課題

#### < 知識及び理解 >

- ・ 第二回の区漢字検定合格率80%以上を目指す。

#### < 思考力・判断力・表現力等 >

- ・ 構成メモをもとに、原稿用紙を正しく使って文章を書く。文章を読み直し、必要に応じて推敲する。

#### < 学びに向かう力・人間性等 >

- ・ 目的に応じて幅広く読書する態度を育てる。
- ・ 文中で既習の漢字を積極的に使おうとする態度を育てる。

### 授業改善策

#### < 知識及び理解 >

- ・ 授業での進出漢字の学習をより丁寧に行うとともに、単元ごとの小テストや期末のまとめテストなどを有効に活用し、配当漢字の定着を目指す。

#### < 思考力・判断力・表現力等 >

- ・ 構成メモをもとに、原稿用紙を正しく使って文章を書いたり、文章を読み直し、必要に応じて推敲したりする活動の時間を保障する。

#### < 学びに向かう力・人間性等 >

- ・ 読み物教材の学習に関連して図書を紹介したり、学校図書館を有効活用したりして、質量両面で読書活動の充実を目指す。
- ・ 家庭学習に意欲的に取り組んでいる児童を紹介したり、年間100冊を読破した読書マスターを称賛したりする。